

令和4年6月1日（6月号）

松江市出雲玉作資料館

# 資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9時～17時（入館は16：30まで）

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

## ■お礼

春季ミニ企画展「**雑物と雑器の布志名焼**」～永保山窯・昇雲窯・立平窯～

沢山の方にご来館頂きありがとうございました。また貴重な資料をお借りしました皆様には感謝申し上げます。

## ■夏季企画展のお知らせ

「**松江藩と玉造御茶屋**」～藩主御入湯の記録～ 7月26日（火）～8月28日（日）

★関連事業：ギャラリートーク 7月30日（土）

「調査員は見た 松江藩主の浴室」～玉造御茶屋跡の調査～

赤澤秀則氏（鹿島歴史民俗資料館館長）に御茶屋跡発掘調査した際のお話をさせていただきます。

会場：玉造御茶屋休憩所

詳細は7月号でご案内します。

■今月の一品 作品名：「**緑釉銀彩紅茶器**」作者：袖師（尾野）窯 製作年代 明治～大正時代



この作品は布志名の土を薄く挽き、花仙山産の碧玉にも似た気品のある美しい光沢を發しています。明治から大正期にかけては布志名焼の最盛期で、緑釉や色絵のコーヒーカップや紅茶カップが量産され、盛んに海外に輸出されていた時代でした。器の底部には「大日本」「出雲」

「**友**」の印があることから、尾

野窯も輸出品を手掛けた時期があり、布志名焼と同様な作品を作っていたことがわかります。

ちなみにこの頃、初代の友市と二代目の岩太郎が窯名を「**友**尾野製陶所」とし、主に「高麗火鉢」と言われる緑釉流黄釉の火鉢を生産して、北陸から北海道まで販路を広げていました。

袖師窯初代の尾野友市は天保13（1842）年、湯町村面白谷の足立嘉右衛門の四男に生まれ、12歳から25歳まで澤藤右エ門の窯で修行し技術を学んだようです。

**\* 受付の前に展示しています。**

■6月のロビー展

無料

出雲玉作資料館友の会主催

## 涌田 稔郎 切り絵展

6月2日(木)～6月30日(木)

初めての展覧会です。昨年始めに切り絵を知り初めの頃はテキストを参考に作っていましたが、オリジナルなものにしたいと思い風景画を作るようになりました。

簡単なもので1週間、複雑なものになると1ヶ月くらいかかります。(涌田)



.....

### ■【休館日のお知らせ】

6/6(月) 6/13(月) 6/20(月) 6/27(月)

.....

■7月ロビー展は【伊藤以都子・写真展】です。